

意識と感謝

二年三組

関根

千華

「七・一キロ」この数字を聞いて何を思い
 浮かべるでしょうか。この数字は小中学生
 が年間一人あたり残す給食の量です。食べ残
 こされた給食は、地球温暖化などの環境問題
 に関わってくるので、減らしていかなければ
 なりません。「七・一キロ」というとても大
 きな数字を減らしていくために、どうしたら
 よいのかを考え、二つの行動に取り組んでみ
 ようと思えます。

一っ日は嫌いな食べ物もなくすることは
 給食を残こしてしまいう理由で一番多いと考
 えました。私も嫌いな食べ物がたくさんあり
 ほぼ毎日減らしてしまっています。でも栄養
 士さんがバランスのよい献立を作ってくれ
 いるので、嫌いなものがあっても一口食べ
 るように心がけていきたいです。
 二っ目は給食を作ってくれている方達の
 苦勞も知ることです。給食を作ってくれてい

る方達というのを具体的にいうと、農家の方
 や調理師さん、栄養士さん、配達の人などた
 くさんいます。この方達が一生懸命働いてく
 ださっているおかげで私達のもとにおいし
 い給食が届けられています。私が職場体
 験でお芋の加工品のお仕事をさせていただ
 いたときに、仕事はとも大変だということ
 を学びました。また、私が作ったものを食
 べたお客様が喜ぶ人してくれたらいいな
 と思いました。給食に関わっている

方達もこのように思っているのではないかと
 感じました。
 給食の残りは、これからの環境に大きな影
 響をあたえていくと思います。そうならな
 いために、対策を考え、行動していかなく
 ならないです。一人一人が意識して生活す
 るのと、たくさん人の感謝を心掛けてい
 くことが大切だと、私は考えます。